

**KT400Aシリーズ
AMD SocketAプロセッサ
マザーボード**

ユーザーズマニュアル

AMD Athlon™ / Athlon™ XP / Duron™ SocketA プロセッサマザーボード
バージョン 1001
12ME-7VAXPAU-1001

目次

アイテムのチェックリスト	3
警告!	3
第1章 はじめに	4
機能の概要	4
KT400A シリーズマザーボードのレイアウト	7
ブロック図	8
第2章 ハードウェアの取付けプロセス	10
ステップ 1: 中央処理装置(CPU)を取付ける	11
ステップ1-1: CPU速度のセットアップ	11
ステップ1-2: CPUの取付け	12
ステップ1-3: CPUヒートシンクの取付け	13
ステップ2: メモリモジュールを取付ける	14
ステップ3: 拡張カードを取付ける	16
ステップ4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続	17
ステップ4-1: I/O リアパネルの概要	17
ステップ4-2: コネクタとジャンパ設定の概要	19



本書に修正箇所がある場合、英語版に従ってください。

アイテムのチェックリスト

- | | |
|--|---|
| ☒ KT400Aシリーズマザーボード | ☒ RAIDマニュアル ** |
| ☒ IDEケーブル x 1/ フロッピーケーブル x 1 | ☒ 2 ポート USB ケーブル x 2 |
| ☒ IDE ケーブル x 2 ** | ☒ オーディオコンボキット x1 ** |
| ☒ マザーボードドライバ&ユーティリティ 用CD | ☒ IEEE 1394 ケーブル x1 *** |
| ☒ KT400A シリーズユーザーズマニュアル | ☐ SPD キット x1 |
| ☒ I/O シールド | ☒ クイックPCインストールガイド |
| ☒ マザーボード 設定ラベル | ☒ SATA RAID マニュアル * |
| ☒ SATA ケーブル x 2 * | ☐ GC-SATA カード* (オプション) |
- (マニュアル ;SATA ケーブル x1 ;電源ケーブル x 1)



CAUTION

コンピュータのマザーボードと拡張カードには、きわめて精巧な集積回路(IC)のチップが組み込まれています。この集積回路が静電気により損傷しないように、コンピュータを操作するときは、常に次の注意事項を守る必要があります。

1. コンピュータの内部を操作するときは、コンピュータの電源を抜く。
2. コンピュータのコンポーネントを取り扱う前に、アースされたリストバンドを付ける。お持ちでない場合は、安全にアースされた物体か、電源装置のケースなどの金属物体に両手を置いてください。
3. コンポーネントの両端をつかみ、ICチップ、リード線やコネクタ、またはその他のコンポーネントに触れないようにする。
4. コンポーネントをシステムから取り外すとき、コンポーネントはアースされた静電気防止パッドの上、またはコンポーネントに付属する袋の上に置く。
5. マザーボードのATX電源コネクタをコンセントにつないで、コンセントから抜く前に、ATX電源装置のスイッチをオフにしていることを確認する。

マザーボードをシャーシに取り付ける...

マザーボードの取り付け穴が台の穴に揃っていない場合、またはスペーサーに接続するスロットがない場合、心配するには及びません。以下の方法で、取り付け穴にスペーサーを取り付けることができます。スペーサーの下部分を切り取り、スペーサーはとても堅いので、手を傷つけないように注意してください。このようにして、ショート心配をすることなしにマザーボードを台に取り付けることができます。マザーボードのPCB面からネジを絶縁するためにプラスチックのリングを使用する必要がときどきありますが、これは回路のワイヤが穴の傍にあるためです。固定穴の傍にあるPCBの回路書き込みやパーツにネジが触れないように注意してください。そうでないと、ボードが破損したり、ボードが誤作動を引き起こす原因となります。

" * " GA-7VAXP-A Ultra専用。

" * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A専用。

" * * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

第1章 はじめに

機能の概要

フォームファクタ	30.5cm x 24.4cm ATX サイズのフォームファクタ、4 層PCB.
マザーボード	KT400A シリーズ: GA-7VAX-A / GA-7VAX1394-A / GA-7VAXP-A / GA-7VAXP Ultra-A
CPU	- Socket A プロセッサ 200/266/333MHz FSBおよびDDR/バス 速度で AMD Athlon™/Athlon™ XP/ Duron™ (K7) 128K L1 & 512K/256K/64K L2 キャッシュオンダイ 1.4GHz 以上をサポート
チップセット	- VIA KT400A メモリ/AGP/PCI コントローラ (PAC) - VIA VT8235 統合周辺装置コントローラ (PSIPC)
メモリ	3 184ピンDDR ソケット - DDR DRAM PC2100/PC2700/PC3200をサポート 3.0GB DDR (最大)までサポート 2.5V DDR DIMMのみをサポート
I/O コントロール	IT8705
スロット	1 AGP スロットが8X/4X/2X mode(1.5V) & AGP 3.0準拠をサポート 5 PCI スロットが33MHz & PCI 2.2準拠をサポート
オンボードIDE	2 IDEコントローラがIDE HDD/CD-ROM (IDE1、IDE2)にPIO、Bus Master (Ultra DMA33/ATA66/ATA100/ATA133)操作モードを提供 - IDE3とIDE4がRAID、Ultra ATA133/100、EIDE **互換
ハードウェア監視	- CPU/システムファン回転の検出 - CPU/システム温度の検出 - システム電圧の検出 - 熱シャットダウン機能

続

" ** " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A 専用。

" *** " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

KT400Aシリーズマザーボード

- 4 -

オンボード周辺装置	• 1つのフロッピーポートが2FDD (360K、720K、1.2M、1.44M、2.88Mバイト)をサポート • 1つのパラレルポートが標準/EPP/ECPモードをサポート • 2つのシリアルポート(COMA & COMB) • 6 x USB 2.0/1.1 (4つはケーブルによる) • 3 x IEEE1394 ケーブルによる *** • IR用1つのIrDAコネクタ • SCR用1つのスマートカードリーダーコネクタ
オンボードサウンド	• Realtek ALC650 CODEC • ラインアウト / 2つの前面スピーカー • ラインイン / 2つの背面スピーカー(s/wスイッチによる) • Micイン / センター& サブウーファ(s/wスイッチによる) • SPDIF アウト / SPDIF イン • CD In / AUX In / ゲームポート
オンボード USB 2.0	• 内蔵 VIA VT8235 チップセット
オンボード RAID **	• オンボード Promise PDC20276 • データストライピング(RAID 0)またはミラリング(RAID 1)をサポート • 並行デュアルIDEコントローラ 操作をサポート • IDEバスマスタ 操作をサポート • 起動時に画面の状態とエラーチェックメッセージ • ミラリングが自動バックグラウンド 再構築をサポート • コントローラオンボードBIOSでLBAと拡張割り込み13ドライブ変換を特徴とする
オンボード SATA RAID *	• オンボード Silicon Image SiI3112A • ディスクストライピング(RAID0)またはディスクミラリング(RAID1)をサポート • Supports UDMA up to 150 MB/secをサポート • 全てのUDMAおよびPIOモード • 2つのSATAデバイスまで • ACPIとATA/ATAPI6
オンボード LAN	• RealTek RTL8100BL

" * " GA-7VAXP-A Ultra専用。

" * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A専用。

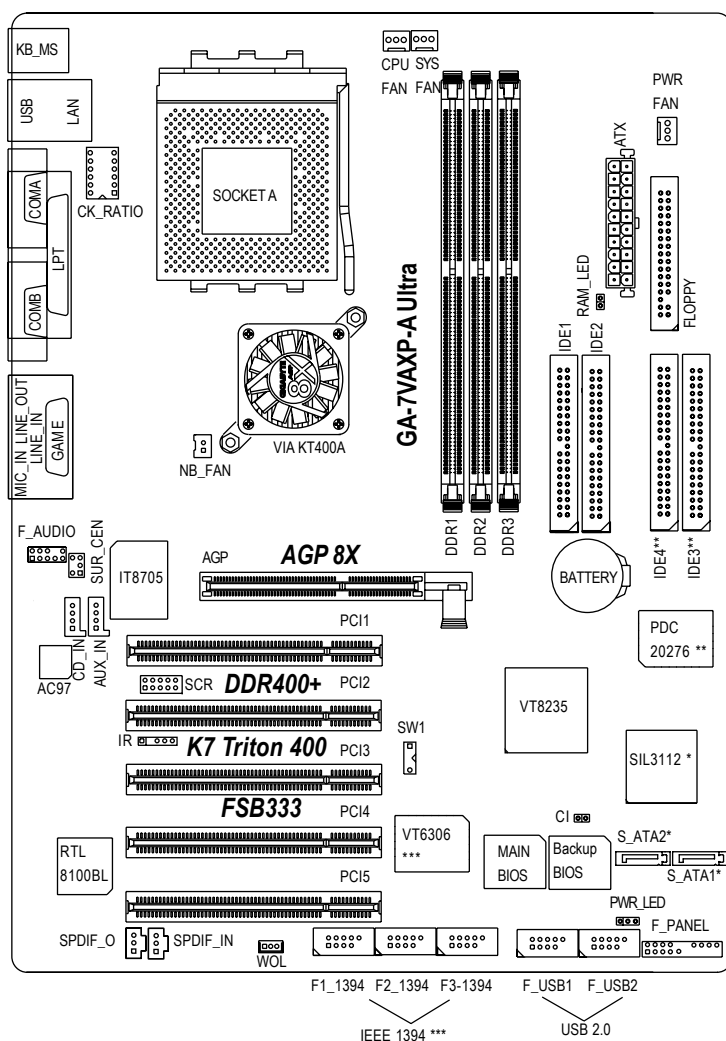
" * * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

オンボードIEEE1394 ***	• VT6306
PS/2コネクタ	• PS/2キーボードインターフェイスとPS/2マウスのインターフェイス
BIOS	• ライセンスを受けたAward BIOSと2MビットフラッシュROM • デュアルBIOS /Qフラッシュをサポート
追加機能	• パスワードによるPS/2キーボードの電源オン、PS/2マウスの電源オン • 外部モデムの呼び起こし • STR(サスペンドトゥラム) • ウェークオンLAN (WOL) • AC回復 • キーボードの過電流保護のためのポリヒューズ • S3からUSB KB/マウスの呼び起こし • 熱シャットダウン機能のサポート • @BIOSのサポート • EasyTune 4のサポート
オーバークロックング	• BIOSによる過電圧(DDR/AGP/CPU) • BIOSによるオーバークロック(DDR/AGP/CPU/PCI)



お使いのプロセッサの仕様に従ってCPUのホスト周波数を設定してください。CPUの仕様を超えたシステムバスの周波数を設定することはお勧めしません。これらの特殊なバス周波数はCPU、チップセットおよびほとんどの周辺装置の標準仕様ではありません。お使いのシステムがこれらの特殊なバス周波数の元で正しく動作するかどうかは、CPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア構成によって異なります。

KT400-A シリーズマザーボードのレイアウト

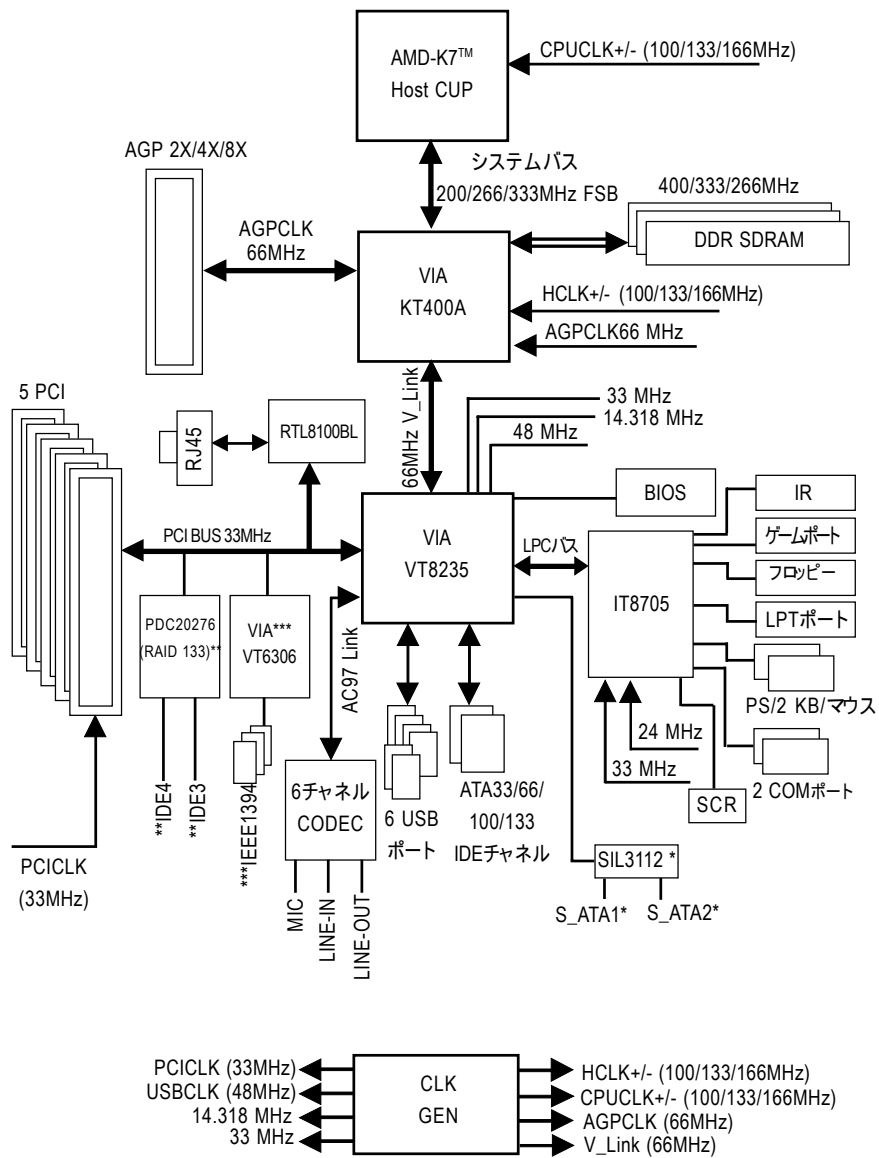


" * " GA-7VAXP-A Ultra専用。

" ** " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A 専用。

" *** " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

ブロック図



" * " GA-7VAXP-A Ultra専用。

" * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A専用。

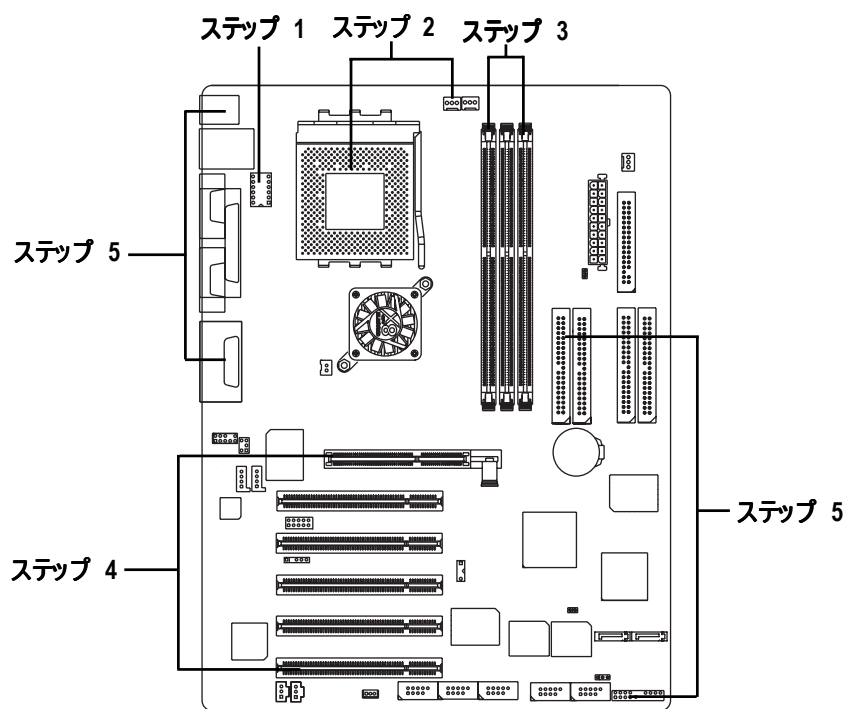
" * * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

KT400Aシリーズマザーボード

第2章 ハードウェアの取り付けプロセス

コンピュータをセットアップするには、次のステップを完了する必要があります：

- ステップ1- ディップスイッチ(CK_RATIO)とシステムスイッチ(SW1)をセットアップします
- ステップ2- 中央処理装置(CPU)を取り付けます
- ステップ3- メモリモジュールを取り付けます
- ステップ4- 拡張カードを取り付けます
- ステップ5- リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置を接続します

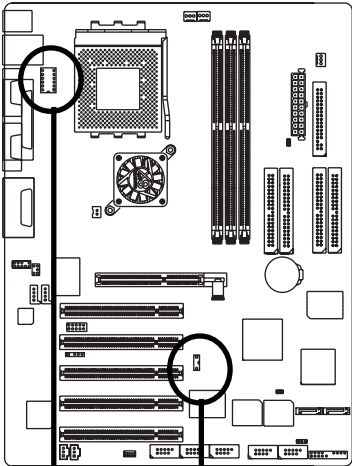


お疲れ様でした、これでハードウェアの取り付けが完了しました！
電源装置をオンにするか電源ケーブルをコンセントに接続してください。続いて、BIOS/ソフトウェアのインストールを行ってください。

ステップ1: 中央処理装置(CPU)を取り付ける

ステップ1-1: CPU速度のセットアップ

クロック比はCK_RATIOによって切り替えることができます。下の表を参照してください。



デフォルトの設定:
自動(XXXXXX)

デフォルトの設定: 100MHz

SW1	CPUクロック	
	100MHz	自動
1	オン	オフ

100MHz : FSB 200MHz CPUに固定
自動 : FSB 266/333 MHz CPUをサポート

⚠ FSB 200MHz CPUを使用するとき、SW1を100MHzに設定する必要があります。

CLK_RATIO		O: オン / X: オフ					
比	1	2	3	4	5	6	
自動 (デフォルト)	X	X	X	X	X	X	
5x	O	O	X	O	O	O	
5.5x	X	O	X	O	O	O	
6x	O	X	X	O	O	O	
6.5x	X	X	X	O	O	O	
7x	O	O	O	X	O	O	
7.5x	X	O	O	X	O	O	
8x	O	X	O	X	O	O	
8.5x	X	X	O	X	O	O	
9x	O	O	X	X	O	O	
9.5x	X	O	X	X	O	O	
10x	O	X	X	X	O	O	
10.5x	X	X	X	X	O	O	
11x	O	O	O	O	O	O	
11.5x	X	O	O	O	O	O	
12x	O	X	O	O	O	O	
12.5x	X	X	O	O	O	O	
13x	O	O	X	O	X	O	
13.5x	X	O	X	O	X	O	
14x	O	X	X	O	X	O	
15x	O	O	O	X	X	O	
16x	O	X	O	X	X	O	
16.5x	X	X	O	X	X	O	
17x	O	O	X	X	X	O	
18x	X	O	X	X	X	O	

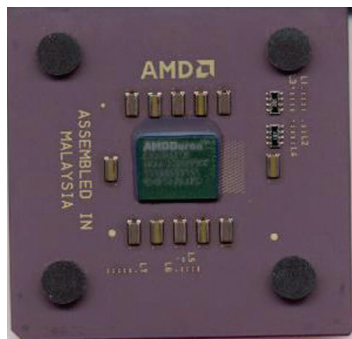
●注: CPU乗数が18xを超えるときにBIOSが自動検出できるように、CK比の乗数スイッチを「自動」に調整してください。

ステップ1-2: CPUの取り付け

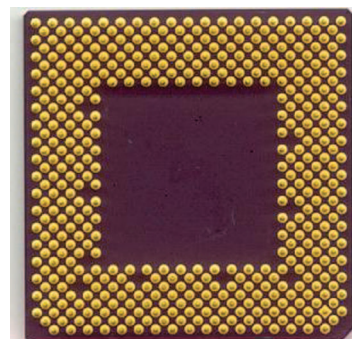


プロセッサを取り付ける前に、次の警告をしっかりと守ってください:

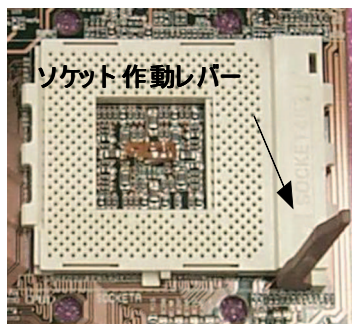
1. CPUのタイプがマザーボードでサポートされているものであることを確認してください。
2. CPUソケットのピン1とCPUのカットエッジがぴったり合わないと、取り付けがうまくいきません。挿入方向を変えてください。



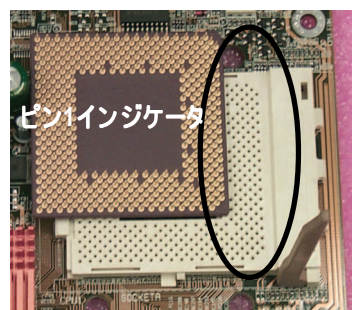
CPU上面ビュー



CPU底面ビュー



1. CPUソケットレバーを引き上げ、90度の角度になるようにします。



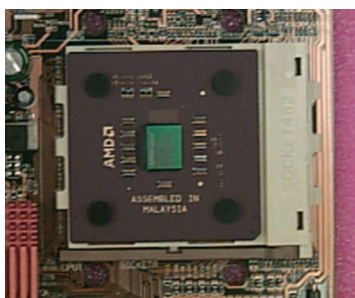
2. ソケットでピン1を探し、CPUの上隅に(金色の)カットエッジが見つかったら、CPUをソケットに差し込みます。

ステップ1-3:CPUクーリングファンの取り付け

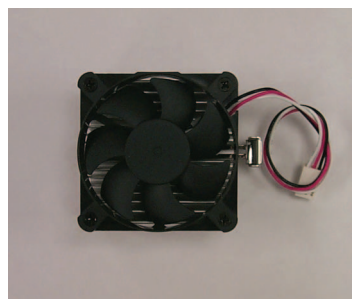


CPUヒートシンクを取り付ける前に、次の警告をしっかりと守ってください:

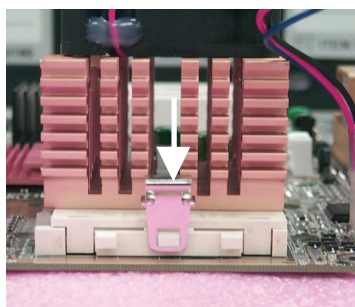
1. AMD 公認のクーリングファンを使用してください。
 2. CPUとヒートシンクの熱伝導を良くするために、感熱糊をご使用になるようにお勧めします。
 3. CPUファンの電源ケーブルがCPUファンのコネクタに差し込まれていることを確認します。これで、取り付けは完了しました。
- 取り付け手順の詳細については、CPUクーリングファンのユーザーズマニュアルを参照してください。



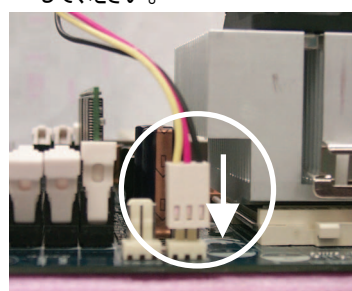
1. CPUソケットレバーを押し下げCPUの取り付けを完了します。



2. AMDが公認した正規のファンを使用してください。



3. クーリングファン支持台をメインボードのCPUソケットに固定します。



4. CPUファンがCPUファンコネクタに取り付けられていることが確認できたら、取り付けは完了です。

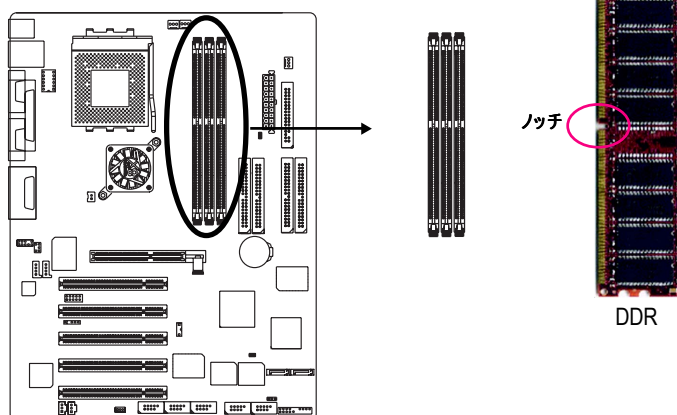
ステップ2: メモリモジュールを取り付ける



メモリモジュールを取り付ける前に、次の警告をしっかりと守ってください:

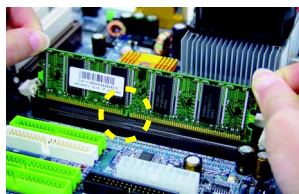
1. LEDがオンになっているとき、ソケットにDIMMを取り付けたりソケットからDIMMを取り外したりしないでください。
2. DIMMモジュールはノッチが1つしかないため一方方向にしかフィットしません。間違った方向に取り付けると取り付けはうまくいきません。挿入方向を変えてください。

マザーボードは3つのデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケットを搭載しています。BIOSはメモリのタイプとサイズを自動的に検出します。メモリモジュールを取り付けるには、DIMMソケットに垂直に押し込んでください。DIMMモジュールはノッチにより一方方向にしかフィットしません。メモリサイズはソケットにより異なります。



バッファなしDDR DIMMサイズタイプのサポート:

64 Mbit (2Mx8x4/バンク)	64 Mbit (1Mx16x4/バンク)	128 Mbit (4Mx8x4/バンク)
128 Mbit(2Mx16x4/バンク)	256 Mbit (8Mx8x4/バンク)	256 Mbit (4Mx16x4/バンク)
512 Mbit(16Mx8x4/バンク)	512 Mbit (8Mx16x4/バンク)	
総シス.テムメモリ(最大3GB)		



1. DIMMスロットにはノッチがあるため、DIMMメモリモジュールは一方方向にしかフィットしません。



2. DIMMメモリモジュールをDIMMスロットに垂直に差し込みます。それから、下に押します。



3. DIMMスロットの両方のエッジにあるプラスチック製クリップを閉じて、DIMMモジュールを固定します。
DIMMモジュールを取り外すときは、取り付け手順を逆に行ってください。

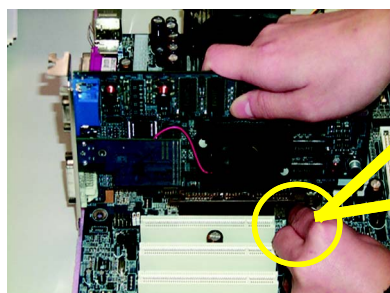
DDRの概要

既存のSDRAM産業インフラストラクチャに基づいて確立されたDDR(ダブルデータ転送速度)メモリは、高性能かつコストパフォーマンスに優れたソリューションで、メモリベンダー、OEM、システム統合者はこれを簡単に採用することができるようになっています。

DDRメモリは、既存のSDRAMインフラストラクチャに基づいて構築されたPC産業界向けの実用的で革新的なソリューションでありながら、メモリバンド幅を2倍にすることによって、システムパフォーマンスのボトルネックを解決する上で素晴らしい進歩を成し遂げています。DDR SDRAMはその可用性、価格設定、市場全体のサポートによって、既存のSDRAM設計から優れたソリューションと移行パスを提供します。PC2100 DDRメモリ(DDR266)は、クロックの立ち上がりと立下りの両方における読み込みと書き込みを通してデータ転送速度を2倍にし、同じDRAMクロック周波数で実行しているとき、PC133の2X以上のデータバンド幅を達成しています。毎秒2.664GBのピークバンド幅を使用して、DDRメモリはシステムOEMを有効にしながら、サーバー、ワークステーション、ハイエンドなPC、バリューデスクトップSMAシステムに適した高性能かつ低い待ち時間のDRAMサブシステムを構築します。従来のSDRAMの3.3ボルトに比べ格段に低い2.5ボルトのコア電圧により、DDRメモリは小さなフォームファクタデスクトップとノートブックアプリケーション向けの強力なソリューションとなっています。

ステップ3: 拡張カードを取り付ける

1. コンピュータに拡張カードを取り付ける前に、関連する拡張カードの取扱説明書をよくお読みください。
2. コンピュータからコンピュータのシャーシカバー、必要なネジ、スロットブラケットを取り外します。
3. 拡張カードをマザーボードの拡張スロットにしっかり押し込みます。
4. カードの金属接合部がスロットに固定されていることを確認します。
5. 再びネジを取り付けて、拡張カードのスロットブラケットをしっかりと締め付けます。
6. コンピュータのシャーシカバーを元に戻します。
7. コンピュータの電源をオンにし、必要に応じて、BIOSから拡張カードのBIOSユーティリティをセットアップします。
8. オペレーティングシステムから関連するドライバをインストールします。

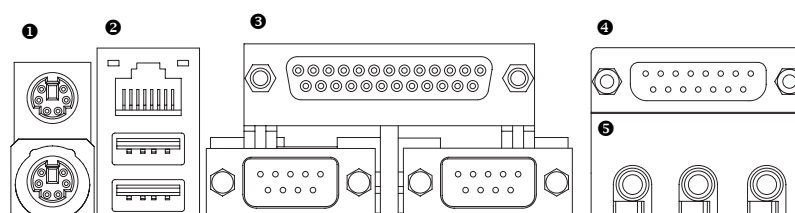


AGPカード

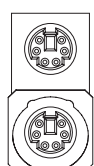
AGPカードの取り付け/取り外しを試みるとき、AGPスロットの端にある小さな白い引き抜き可能バーを慎重に引き出してください。オンボード AGP スロットをAGPカードの位置に合わせ、スロットにしっかりと押し込みます。AGPカードが小さな白い引き抜き可能バーによってロックされていることを確認してください。

ステップ4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置 の接続

ステップ4-1 : I/O背面パネルの概要



① PS/2キーボードとPS/2マウスコネクタ

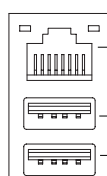


PS/2 マウスコネクタ
(6ピンメス)

PS/2キーボードコネクタ
(6ピンメス)

➤ このコネクタは標準のPS/2キーボードとPS/2マウスをサポートします。

② USB/LANコネクタ



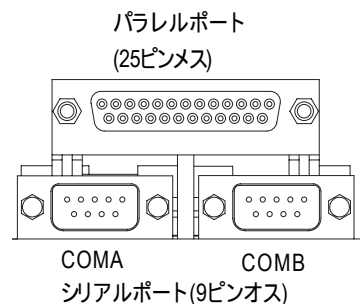
LANコネクタ

USB 1

USB 0

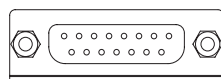
➤ デバイスをUSBコネクタに接続する前に、USBキーボード、マウス、スキャナ、zip、スピーカーなどのデバイスが標準のUSBインターフェイスを搭載しているか確認してください。また、お使いのOSがUSBコントローラをサポートしていることも確認してください。OSがUSBコントローラをサポートしていない場合、OSベンダーに連絡してパッチやドライバをアップグレードしてください。詳細については、OSまたはデバイスベンダーにお問合せください。

⑤ パラレルポートとシリアルポート (COMA/COMB)



➤ このコネクタは2つの標準COMポートと1つのパラレルポートをサポートします。プリンタのようなデバイスはパラレルポートに接続できます。マウスとモデムはシリアルポートに接続できます。

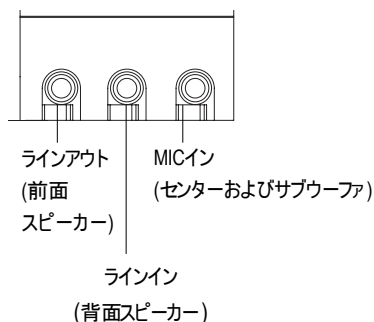
④ ゲーム /MIDIポート



ジョイスティック / MIDI (15ピンメス)

➤ このコネクタはジョイスティック、MIDIキーボードおよびその他の関連オーディオデバイスをサポートします。

⑥ オーディオコネクタ



➤ オンボードオーディオドライバをインストールした後、スピーカーをラインアウトジャックに、電話をMICインジャックに接続できます。CD-ROM、ウォークマンなどのデバイスは、ラインインジャックに接続できます。

注:

S/W選択により、2-/4-/6-チャンネルオーディオ機能を使用できます。

6チャンネル機能を有効にしたい場合、2通りのハードウェア接続を選択できます。

方式1:

"前面スピーカー"を"ラインアウト"に接続し

"背面スピーカー"を"ラインイン"に接続し

"センターとサブウーファ"を"MICアウト"に接続します。

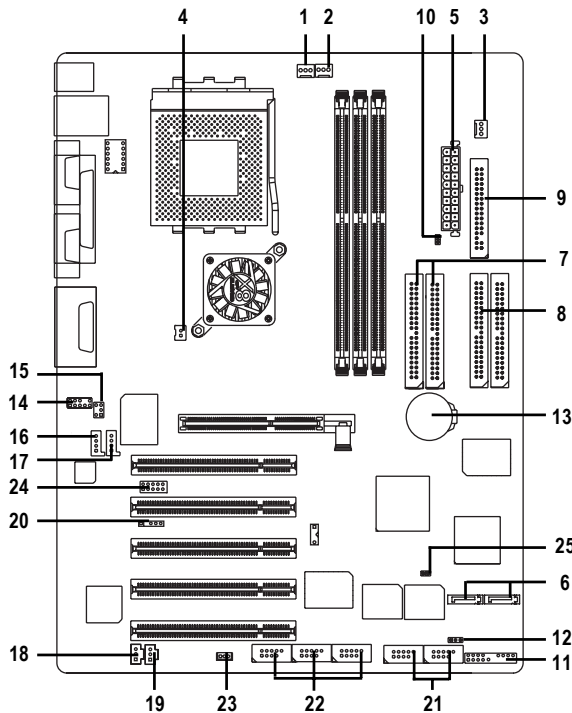
方式2:

オプションのSUR_CENケーブルについては、28ページを参照するか、最寄りの販売店にお問い合わせ下さい。



2-/4-/6チャンネルオーディオセットアップの詳細については「2-/4-/6チャンネルオーディオ機能の概要」を参照してください。

ステップ4-2 : コネクタの概要



1) CPU_FAN	14) F_AUDIO
2) SYS_FAN	15) SUR_CEN
3) PWR_FAN	16) CD_IN
4) NB_FAN	17) AUX_IN
5) ATX_POWER	18) SPDIF_O
6) S_ATA1/S_ATA2 *	19) SPDIF-IN
7) IDE1/IDE2	20) IR
8) IDE3/IDE4 **	21) F_USB1/F_USB2
9) FDD	22) F1_1394/F2_1394/F3_1394***
10) RAM_LED	23) WOL
11) F_PANEL	24) SCR
12) PWR_LED	25) CI
13) BATTERY	

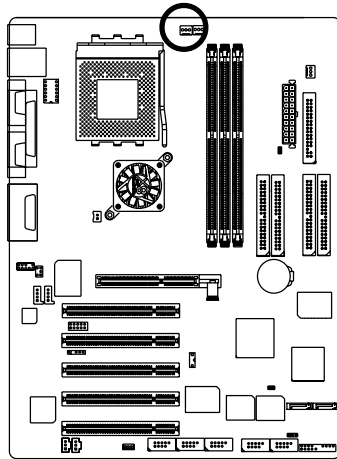
" * " GA-7VAXP-A Ultra専用。

" * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A専用。

" * * * " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

1) CPU_FAN (CPUファンコネクタ)

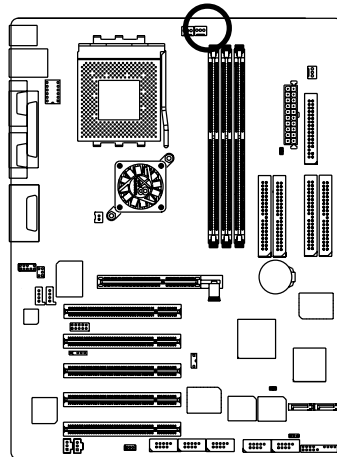
CPUが異常状態で作動したり過熱による損傷を防ぐために、CPUクーラーを適切に取り付ける必要があります。CPUファンコネクタは、600 mAまでの電流をサポートします。



ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

2) SYS_FAN (システムファンコネクタ)

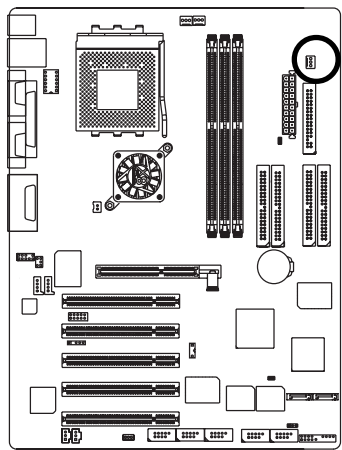
このコネクタにより、クーリングファンをシステムケースに接続してシステム温度を下げるすることができます。



ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

3) PWR_FAN (電源ファンコネクタ)

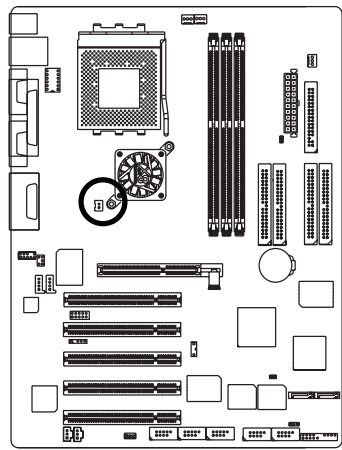
このコネクタにより、クーリングファンをシステムケースに接続してシステム温度を下げる
ことができます。



ピン番号	定義
1	GND
2	+12V
3	Sense

4) NB_FAN

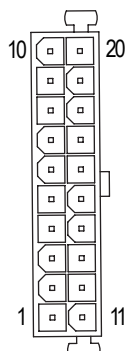
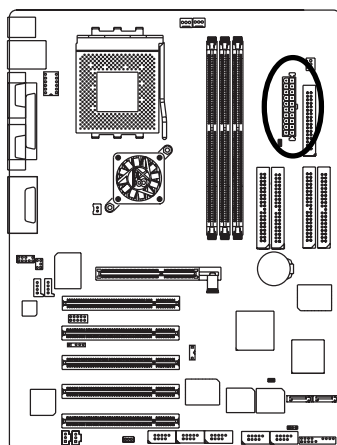
間違った方向に取り付けるとチップファンは作動しません。場合によっては、チップファンを損
傷させることもあります(通常、黒いケーブルはアース用です)。



ピン番号	定義
1	VCC
2	GND

5) ATX_POWER (ATX電源)

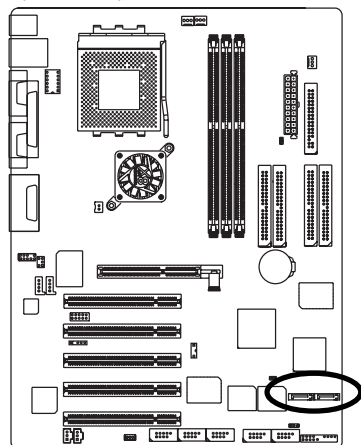
AC電源コードは、ATX電源ケーブルおよびその他の関連デバイスをマザーボードにしっかり接続した後でのみ、電源装置に接続してください。



ピン番号	定義
1	3.3V
2	3.3V
3	GND
4	VCC
5	GND
6	VCC
7	GND
8	電源良好
9	5V SB(スタンバイ +5V)
10	+12V
11	3.3V
12	-12V
13	GND
14	PS_ON(ソフトオン/オフ)
15	GND
16	GND
17	GND
18	-5V
19	VCC
20	VCC

6) S_ATA1/S_ATA2 (シリアルATA)*

シリアルATAデバイスをこのコネクタに接続すると、高い転送速度が得られます (150MB/秒)。

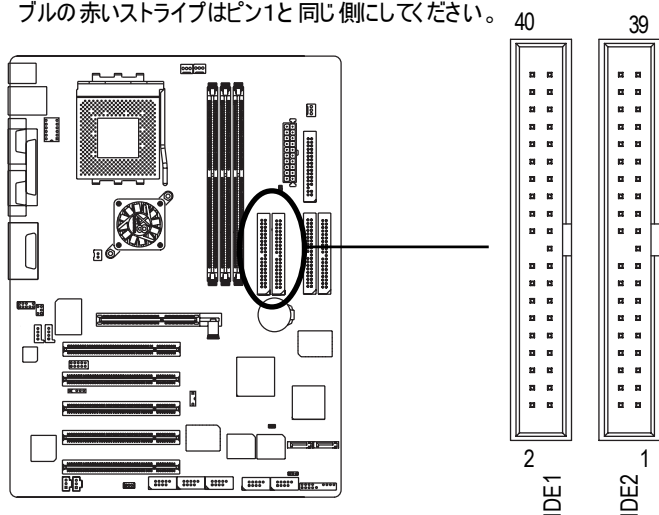


ピン番号	定義
1	GND
2	TXP
3	TXN
4	GND
5	RXN
6	RXP
7	GND

* * GA-7VAXP-A Ultra専用.

7) IDE1/ IDE2(IDE1/IDE2コネクタ)

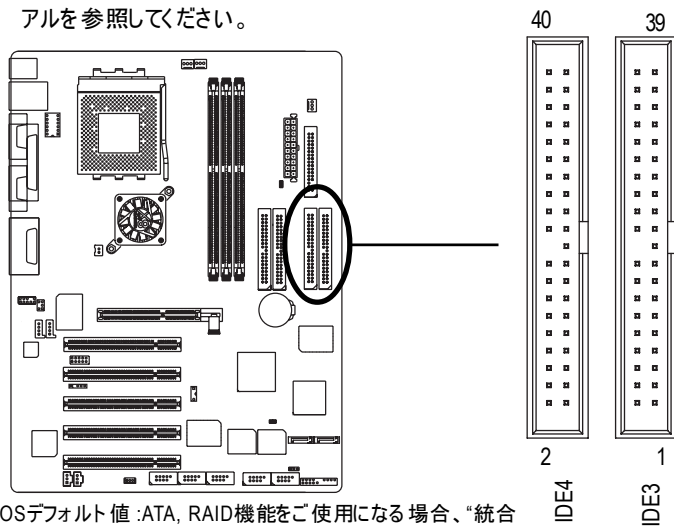
まずハードディスクをIDE1に接続してから、CDROMをIDE2に接続してください。リボンケーブルの赤いストライプはピン1と同じ側にしてください。



8) IDE3 /IDE4 (RAID/ATA133、グリーンコネクタ)**

リボンケーブルの赤いストライプはピン1と同じ側にしてください。

IDE3とIDE4を使用したい場合、BIOSとともに使用してください(RAIDまたはATA133)。それから、正しいドライブを取り付けて適切に操作します。詳細については、ITE RAIDマニュアルを参照してください。

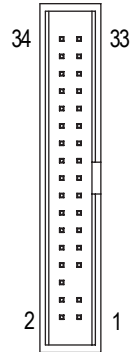
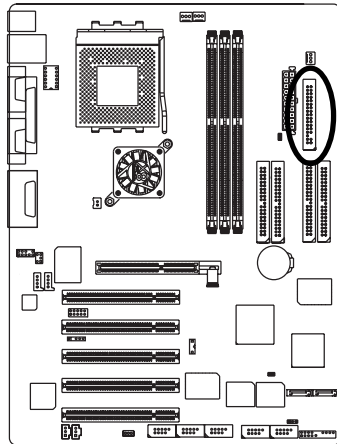


(BIOSデフォルト値:ATA, RAID機能をご使用になる場合、“統合周辺装置-RAIDコントローラ機能”を“RAID”に変更してください。)

" ** " GA-7VAXP-A Ultra / GA-7VAXP-A専用。

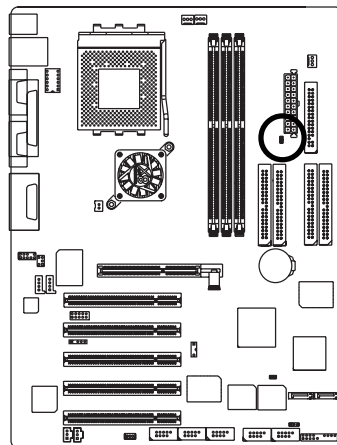
9) FDD (フロッピー コネクタ)

フロッピードライブのリボンケーブルをFDDに接続してください。このコネクタは360K、720K、1.2M、1.44M、2.88Mバイトのフロッピーディスクのタイプをサポートしています。リボンケーブルの赤いストライプはピン1と同じ側にしてください。



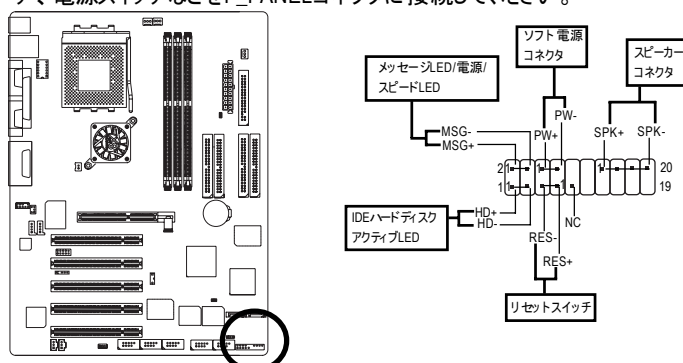
10) RAM_LED

RAM LEDがオンになっている間は、メモリモジュールを取り外さないでください。2.5Vのスタンバイ電圧により、ショートまたは予期せぬ損傷を受ける原因となります。メモリモジュールの取り外しは、AC電源コードが接続されていないときのみ行ってください。



11) F_PANEL (2x10ピンコネクタ)

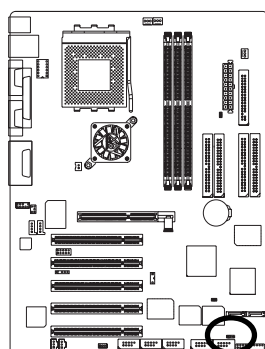
上のピン割当てに従って、シャーシ前面パネルの電源LED、PCスピーカー、リセットスイッチ、電源スイッチなどをF_PANELコネクタに接続してください。



HD (IDEハードディスクLED) (青)	ピン1: LED 陽極(+) ピン2: LED 陰極(-)
SPK (スピーカーコネクタ) (アンバー)	ピン1: VCC(+) ピン2- ピン3: NC ピン4: データ(-)
RES (リセットスイッチ) (緑色)	脈: 標準操作 閉じる: ハードウェアシステムのリセット
PW (ソフトパワーコネクタ) (赤)	脈: 標準操作 閉じる: 電源オン/オフ
MSG(メッセージLED/電源/スリープLED) (黄色)	ピン1: LED 陽極(+) ピン2: LED 陰極(-)
NC (紫色)	NC

12) PWR_LED

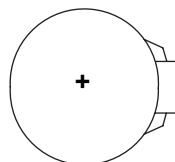
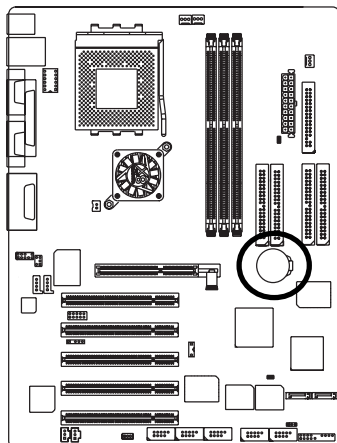
PWR_LEDをシステム電源インジケータに接続すると、システムのオン/オフの状態を示します。PWR_LEDは、システムがサスペンドモードに入ると点滅します。デュアルカラーLEDを使用すると、電源LEDは他の色に変わります。



1

ピン番号	定義
1	MPD+
2	MPD-
3	MPD-

13) BATTERY (バッテリー)



注意

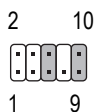
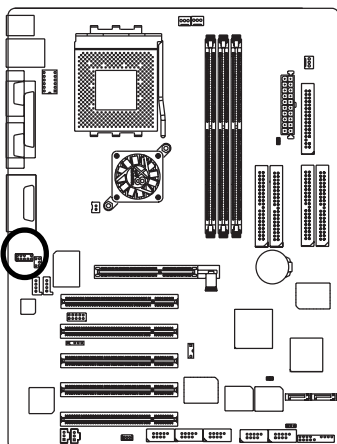
- ❖ バッテリーは、正しく交換しないと爆発する恐れがあります。
- ❖ メーカーが推奨するタイプのバッテリー、または同等のバッテリーと交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーの処分は、メーカーの指示に従ってください。

CMOSを消去する場合...

1. コンピュータの電源をオフにし、電源コードを抜きます。
2. バッテリーを取出して、30秒待ちます。
3. バッテリーを再び入れます。
4. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をオンにします。

14) F_AUDIO (F_AUDIOコネクタ)

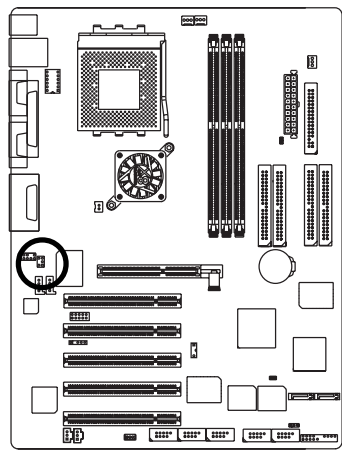
前面オーディオコネクタをご使用になる場合、5-6,9-10ジャンパを削除する必要があります。前面オーディオヘッドを利用するには、シャーシが前面オーディオコネクタを装備する必要があります。また、ケーブルのピン割当てがMBヘッダのピン割当てと同じになっていることを確認してください。ご購入になったシャーシが前面オーディオコネクタをサポートしているかどうかを知るには、販売店にお問合せください。サウンドを再生するには、前面オーディオコネクタを使用する方法と背面オーディオコネクタを使用する方法から選択できます。



ピン番号定義	
1	MIC
2	GND
3	REF
4	電源
5	前面オーディオ(R)
6	背面オーディオ(R)
7	予約済み
8	ピンなし
9	前面オーディオ(L)
10	背面オーディオ(L)

15) SUR_CEN

オプションのSUR_CENケーブルについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。



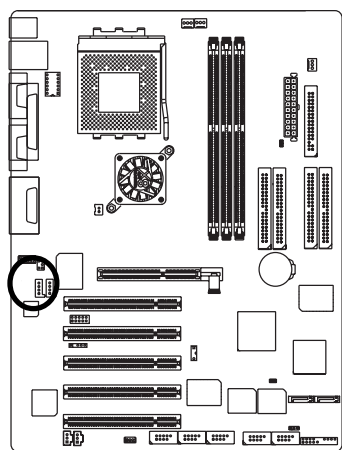
6 5

2 1

ピン番号	定義
1	SUR OUTL
2	SUR OUTR
3	GND
4	ピンなし
5	ENTER_OUT
6	BASS_OUT

16) CD_IN (CDイン)

CD-ROMまたはDVD-ROMオーディオアウトをコネクタに接続します。

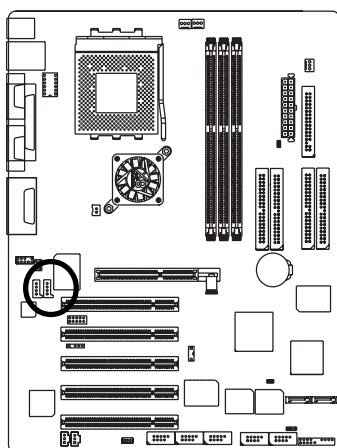


1

ピン番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD_R

17) AUX_IN (AUXインコネクタ)

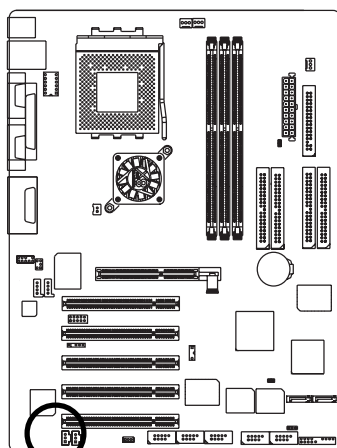
他のデバイス(PCI TVチューナーオーディオアウトなど)をコネクタに接続します。



ピン番号	定義
1	AUX-L
2	GND
3	GND
4	AUX-R

18) SPDIF_O (SPDIFアウト)

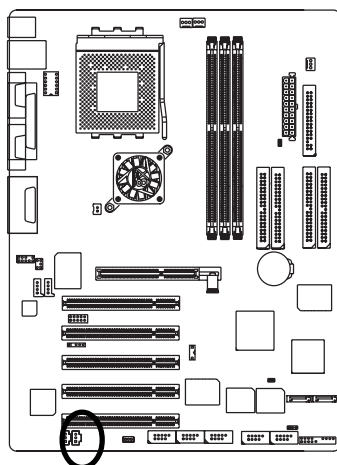
SPDIF出力は、デジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮されたAC3データを外部のDolby Digital Decoderに提供することができます。この機能は、ステレオシステムがデジタル入力機能を搭載しているときだけご使用になれます。



ピン番号	定義
1	VCC
2	SPDIFアウト
3	GND

19) SPDIF_IN

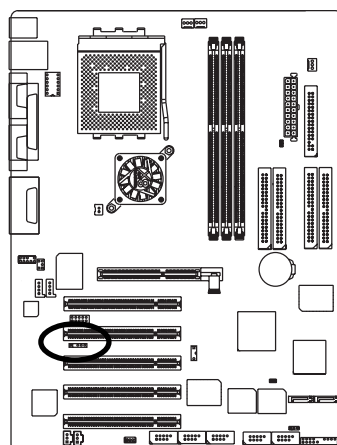
この機能は、デバイスがデジタル出力機能を搭載しているときだけご使用になれます。



ピン番号	定義
1	VCC
2	SPDIFイン
3	GND

20) IR

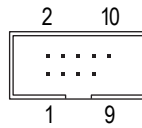
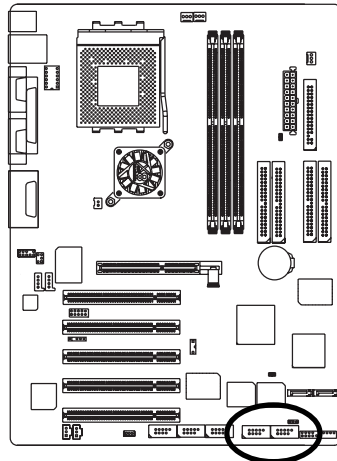
IRを接続している間、IRコネクタの極性に注意してください。オプションのIRデバイスについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	VCC(+5V)
2	ピンなし
3	IRデータ入力
4	GND
5	IRデータ出力

21) F_USB1 / F_USB2(前面USBコネクタ、黄色)

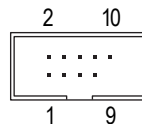
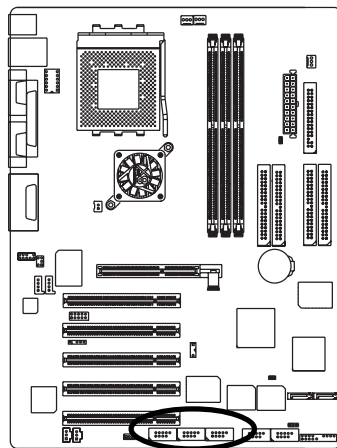
前面USBコネクタの極性にご注意ください。前面USBケーブルを接続している間にピン割り当てをチェックしてください。オプションの前面USBケーブルについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源
2	電源
3	USB DX-
4	USB Dy-
5	USB DX+
6	USB Dy+
7	GND
8	GND
9	ピンなし
10	NC

22) F1_1394/F2_1394/F3_1394(IEEE1394コネクタ、グレーコネクタ)***

注意: Institute of Electrical and Electronics Engineersが設定したシリアルインターフェイス規格で、高速、高いバンド幅、ホットプラグのような特徴を備えています。



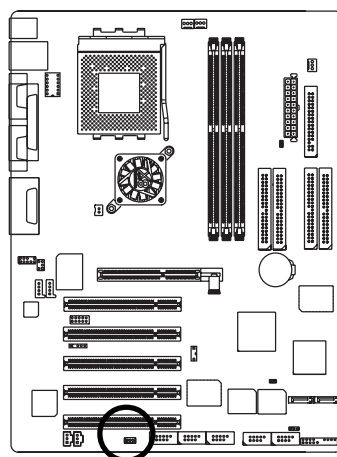
ピン番号	定義
1	TPA+
2	TPA-
3	GND
4	GND
5	TPB+
6	TPB-
7	電源
8	電源
9	ピンなし
10	GND

F1_1394 F2_1394 F3_1394
IEEE1394 ***

" *** " GA-7VAXP-A Ultra用 / GA-7VAXP-A / GA-7VAX1394-A専用。

23) WOL (ウェークオンLan)

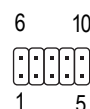
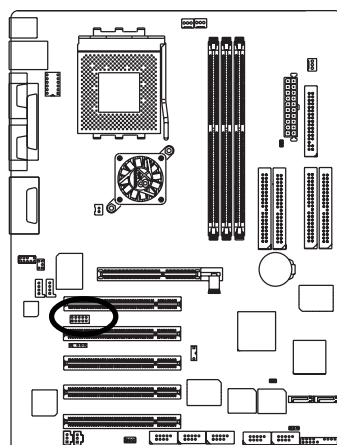
このコネクタにより「サーバーの削除(Remove Server)」はWOLもサポートするネットワークアダプタを介して、このマザーボードを取り付けたシステムを管理することができます。



ピン番号定義	
1	+5V SB
2	GND
3	信号

24) SCR (スマートカードリーダーヘッダ、黒いコネクタ)

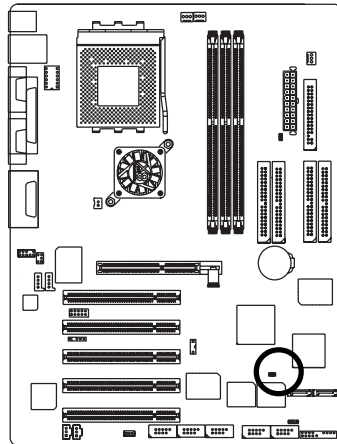
このMBはスマートカードリーダーをサポートします。スマートカードリーダーを使用できるようにするには、オプションのスマートカードリーダーボックスが必要となります。公認の代理店にお問い合わせください。



ピン番号定義	
1	VCC
2	SCAPWCTL-
3	SCAC4
4	SCAIO
5	SCACLK
6	GND
7	SCARST-
8	SCALED
9	SCAC8
10	SCAPSNT

25) CI (ケースオープン)

この2ピンコネクタにより、システムケースの取外しを開始するとき、システムはBIOSの“ケースオープン”アイテムを使用可能/使用不能に設定することができます。



□ □ 1

ピン番号定義	
1	信号
2	GND